

中国ムスリム研究会 10周年記念大会

共催： NIHU プログラム・現代中国地域研究 早稲田大学幹事拠点
NIHU プログラム・イスラーム地域研究 東京大学拠点

中華人民共和国と少数民族 —「周縁」からみた国民統合の過去・現在・未来—

プログラム：

趣旨説明・司会： 澤井充生（首都大学東京）

報告 1： 水谷尚子（中央大学）

「1950～70 年代中華民国在台湾政府は新疆からの国外亡命者にどう対処したか
——中華民国外交部文書から読み解く」

報告 2： 松本ますみ（敬和学園大学）

「信仰深さによる抵抗——イスラーム教育を受けた回族女性」

報告 3： 楊海英（静岡大学）

「植民地支配と大量虐殺、そして文化的ジェノサイド
——中国の民族問題研究への新視座」

報告 4： 大川謙作（東京大学）

「包摂と排除の語り——チベットからみた『周縁からの中国』」

総括 コメンテーター： 毛里和子（早稲田大学）

参加申込： 12 月 10 日（土）までに中国ムスリム研究会事務局のメールアドレス
(MuslimsInChina@hotmail.com) へご連絡下さい。またその際、研究会終了後の
懇親会への出欠に関しましてもお書き添え頂ければ幸いです。



2011 12/18（日）
12：00～18：00

会場：
早稲田大学早稲田キャンパス
9号館 5階第1会議室

